

## 1 テーマ

複式・少人数学級における確かな学力の定着を図る学習指導の在り方  
～ 国語科、算数科、NIE教育を通して ～

## 2 NIEの目標

## 【低学年】

- 新聞の写真や文字に興味を持ち、新聞に親しむことができる。
- 新聞を活用して語彙力向上を図ることができる。

## 【中学年】

- 新聞に対する興味や関心を高め、新聞になれ親しむことができる。
- 新聞記事を読み、自分の考えを持ち、感想を書くことができる。

## 【高学年】

- 新聞各社の同一記事を比べて読んだり、記事と自分の考えを比べたりして感想を書くことができる。
- 確かな学力の定着を図るために、国語の授業（説明文）で学んだことを生かして、新聞記事を使ったワークシート（活用力を高める問題）に取り組むことができる。

## 【職員】

- 新聞を活用した指導法について研修を深め、各学年の発達段階に応じて実践する。

## 3 実践内容

- (1) NIE教育に関する職員研修（研究授業含む）
- (2) NIEタイムの実施
- (3) 新聞社への投稿
- (4) NIEコーナーの設置

## 4 研究の実際

- (1) NIE教育に関する職員研修（研究授業含む）

本校は、NIE実践校1年目である。今年度は、下記のような研究授業及び出前授業を行った。

	時期	対象者	内 容
研究授業①	5月	5・6年	国語科「読むこと（説明文）」複式授業
出前授業①	6月	1・2年	創意「新聞に親しもう」 講師 南日本新聞社（岩松氏）
職員研修	8月	全職員	職員研修（NIE教育について） 講師 奈良県NIEアドバイザー（高橋教諭）
研究授業②	9月	5・6年	国語科「読むこと（説明文）」複式授業
出前授業②	12月	6年	総合的な学習「はがき新聞作成」 講師 南日本新聞社（増山氏）
研究授業③	2月	1・2年	外国語活動（創意）「色や形で遊ぼう」

## ア 出前授業

低学年を対象にした NIE 教育の実践について、1 学期に南日本新聞社の岩松氏を講師に招き出前授業を実施した。学習内容は、新聞の中から気になる写真を選ばせ、感想を書いて発表する活動を行った。この学習で、子供たちは意欲的に学習に取り組むことができていた。



また、職員の NIE 教育に関する共通実践や意識を高めるために、NIE 教育で様々な実践をされている奈良県 NIE アドバイザー高橋教諭を招いて、全職員を対象にした研修を行った。

NIE 教育に関する講義を聴いたり、演習を行ったりした。演習では、「はがき新聞」や「新聞紙を使った遊び」、「4 コマ漫画を使った学習」を学んだ。夏休みに実施したので、多くの時間を確保でき、充実した研修になった。



2 学期は、南日本新聞社の増田氏を講師に招き、「はがき新聞」の作成方法について学んだ。レイアウトや小見出しについて具体的なアドバイスをいただいた。その結果、6 年児童全員が協力して「はがき新聞」を作成し、1 月 1 日付の南日本新聞に掲載された。

## イ 研究授業

(ア) 5・6 年国語科複式授業 (研究の重点: 文章構成や筆者の考えを捉える)

学年	5 年	6 年
教材	「見立てる／生き物は円柱形」 (4/7 時)	「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間」 (4/7 時)
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章全体の構成を捉えることができる。</li> <li>○ 筆者が話題としていることや主張していることを読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆者の考え (要旨) を捉えることができる。</li> <li>○ 筆者がどのような構成で考えを述べているか理解している。</li> </ul>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の振り返りをする。</li> <li>2 ①②段落を読む。</li> <li>3 本時の課題を確認する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     どのような文章構成になっているだろうか。                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 説明文のプレ教材「見立てる」の学習を思い出しながら、「生き物は円柱形」の全文を大きく 3 つのまとまりに分ける。</li> <li>5 それぞれの段落の中で、大事な言葉や文を書く。</li> <li>6 考えを交流する。(ペア・グループ → 全体)</li> <li>7 本時のまとめをする。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     本文は、教材「見立てる」と同じで、(双括型)の文章である。                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>8 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> <li>9 <u>新聞コラムを読み、筆者が読者に伝えたいことを考える。</u></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の振り返りをする。</li> <li>2 本時の課題を確認する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     筆者の主張は何段落に書かれているだろうか。また、どのような三部構成になっているだろうか。                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 「時計の時間と心の時間」を読んで、筆者の主張を捉える。</li> <li>4 説明文のプレ教材「笑うから楽しい」の学習を思い出しながら、「時計の時間と心の時間」の全文を大きく 3 つのまとまりに分ける。</li> <li>5 それぞれの段落の中で大事な言葉や文を書く。</li> <li>6 考えを交流する。(ペア・グループ → 全体)</li> <li>7 本時のまとめをする。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     本文は (双括型) の文章である。双括型の文章構成にすると、筆者の (説得力) が増す。                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>8 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> <li>9 <u>新聞コラムを読み、筆者が読者に伝えたいことを考える。</u></li> </ol>



#### (4) NIEコーナーの設置

本校の階段横掲示板には、学校全体のNIEコーナーを設置し、南日本新聞の「ひろば」や「子どものうた」「オセモコ」に掲載された児童の作品や本校に関する記事を掲示した。子供たちや保護者、来校された方が、じっくり読む姿をよく見受けた。また、学級前の廊下に、NIEコーナーを設けた。NIEタイムで書いた感想を掲示し、意欲を高めさせている。



職員室前の棚に収納ケースを準備し、曜日ごとに新聞紙を保管した。曜日は、子供新聞の中身を職員で検討し、割り振りを決定した。各学級担任は、学年の担当曜日の新聞を教室に保管し、児童が休み時間等自由に読めるようにしている。

月	火	水	木	金	土	日
6年	5年	3・4年	5年	3・4年	6年	1・2年



#### 5 成果と課題

##### 【成果】

- 実践研究1年目であったが、全職員で共通理解、共通実践しながらNIE教育に取り組むことができた。
- NIEタイムの取り組みや各学年の作品掲示を通して、子供たちが新聞に興味・関心を持つとともに、文章を読んで自分の考えを書く力が身に付いてきた。
- NIEタイムや説明文学習の終末で新聞を効果的に活用することにより、学習内容の定着が深まった。
- 外国語活動でも、新聞を活用することにより、子供たちがいきいきと学ぶことができた。

##### 【課題】

- △ 各学年の発達段階に応じた新聞活用について、職員間での共通理解をさらに深める。
- △ 家庭と連携したNIE活動の充実をさらに図りたい。